

第 8 回新潟県データサイエンス人材育成協議会議事概要

日 時： 令和 7 年 6 月 18 日（水） 13:00～13:44

場 所： Zoom ミーティング

出席者： 別紙のとおり（9 名）

1. 報告事項

（1）第 7 回協議会議事概要の確認

第 7 回新潟県データサイエンス人材育成協議会議事概要の確認があった。

（2）データサイエンス授業資料等の配付について

新潟大学の齋藤委員より、資料（目録）に基づき、協議会においてデータサイエンスの授業の資料及び教材を収集・共有していることについて報告があった。また、新潟大学では、学部 1 年生の必修科目「データサイエンス総論 I」において、他学部での学習事例として当該資料を活用しており、学生からは、自身の専門外の事例を知ることができ大変参考になったと好評を得ていることが報告された。

（3）MDASH（リテラシーレベル）の更新申請について

新潟大学の齋藤委員より、資料に基づき、特に県内では令和 3 年度に認定を受けた長岡工業高等専門学校と新潟大学が令和 7 年 10 月に再認定を申請することとなる旨説明があった。また、令和 4 年度に認定を受けたリテラシーレベル認定 5 校（長岡技術科学大学、新潟薬科大学、新潟経営大学、新潟工科大学、新潟リハビリテーション大学）及び応用基礎レベル認定校 2 校（開志専門職大学、新潟大学）は、同様に令和 8 年 10 月に再認定申請を行う必要があるとの説明があった。

2. 審議事項

なし

3. ご講演

（1）「県立高等学校等における教科「情報」の取り組みとICTの活用」

新潟県 高等学校教育課 教育情報化推進担当 指導主事 小池 睦 氏

（2）質疑及び意見交換

Q) これまで高等学校の取り組みで収集したデータの公開は検討されているか。

A) 現時点ではオープンデータ化についての具体的な話は出ていない。

Q) 生成 AI パイロット校の取り組みが他の高校にも広まり、大学入学者が生成 AI 技術

やりテラシーを身に付けてくれていると有り難い。今後の普及・振興の計画を伺いたい。

A) 今年度は八海高等学校で導入した事例を全県に広めていながら、国際情報高等学校の先進的な取り組み事例を共有することを計画している。近いうちに国際情報高等学校で公開授業が実施される予定であり、授業の見学の機会を設けるほか、県内の学校に対して Google ドライブ等を通じて資料を共有するので、各校で検討してもらいたい。

Q) やりたいと手を挙げた他校や大学等の教育機関、または企業の人材育成担当者にも資料公開の予定はあるか。

A) 個別学校の判断による。年度末には資料をホームページ等で公開する見込みである。

4.その他

なし

別紙

第8回新潟県データサイエンス人材育成協議会出席者

出席者（順不同）9名

齋藤 裕	新潟大学（運営委員）
山田 修司	新潟大学（運営委員）
井上 久祥	上越教育大学
鈴木 源吾	開志専門職大学
湯川 高志	長岡技術科学大学
中村 誠	新潟工科大学
齊藤 光俊	新潟経営大学
近山 英輔	新潟国際情報大学
栗原 由枝	新潟大学

陪席者（協議会委員名簿に記載のない方、協議会参加組織の所属を含む）16名